

中学歴史プリント（過去問類似）

飛鳥時代

名前

得点

/9

問1 6世紀後半の飛鳥時代において、大陸から伝わった仏教の受容を積極的に進めた蘇我氏と、日本の伝統的な神を重んじてこれに反対し、最終的に軍事衝突の末に滅ぼされた有力な豪族はどこか。（2025年 岡山公立入試 類似）

1. 物部氏 2. 山名氏 3. 中臣氏 4. 大伴氏

問2 7世紀後半、皇位継承をめぐる起きた「壬申の乱」という大規模な内乱に勝利し、都を再び飛鳥地方に戻して、天皇を中心とした強力な中央集権国家の土台を築いた人物は誰か。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 天武天皇 2. 天智天皇 3. 聖徳太子 4. 桓武天皇

問3 白村江の戦いにおける大敗後、大和政権が急速に中央集権体制の確立（公地公民や律令の整備）を急いだ背景として、当時の東アジア情勢から考えられる理由を説明したものととして適切なものはどれですか。（2025年 奈良公立入試 類似）

1. 唐や新羅による侵攻の脅威に対抗するため、国力を結集し強力な国家を創る必要があったから。 2. 遣隋使の派遣を停止し、日本独自の国風文化を育てることで精神的な団結を図ったから。 3. 平氏や源氏といった武士団の台頭を抑え、天皇中心の軍隊を再編する必要があったから。 4. 朝鮮半島での利権を完全に放棄し、国内の開墾事業に専念して食糧増産を目指したから。

問4 645年に中大兄皇子と中臣鎌足らが蘇我氏を倒して始まった、天皇中心の国造りを目指す政治改革において、日本で初めて定められた元号は何ですか。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 大化 2. 白雉 3. 大宝 4. 建武

問5 聖徳太子が定めた冠位十二階が、それ以前の日本の政治制度（氏姓制度）と決定的に異なっていた点はどこにありますか。（2024年 愛媛公立入試 類似）

1. 与えられた位がその個人一代限りのものであり、子孫には継承されない点。 2. 地方の豪族に対して、その土地の支配権を恒久的に保証する役割を持った点。 3. 中国の隋からの使者を接待するためだけに作られた、一時的な儀礼用の制度である点。 4. 蘇我氏などの特定の有力豪族だけが、最高位を独占できるように設計された点。

問6 660年に唐と新羅が連合して百済を滅ぼし、その3年後に日本が百済復興を助けようとして唐・新羅連合軍に大敗した「白村江の戦い」という歴史的背景を踏まえ、日本が九州北部に「防人」を配置した直接的な目的として最も適切なものを選びなさい。（2020年 広島公立入試 類似）

1. 唐や新羅の軍勢が日本列島へ攻め込んでくる事態に備え、国防を固めるため 2. 九州地方で頻発していた政府への反乱を武力で鎮圧し、国内を安定させるため 3. 九州北部の広大な未開墾地を兵士に耕作させ、大陸への輸出用穀物を生産するため 4. 大陸の先進的な文化を取り入れるため、唐からの使者を九州で手厚く迎えるため

問7 推古天皇や聖徳太子（厩戸王）の時代に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化である飛鳥文化の仏像について、その特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2016年 和歌山公立入試 類似）

1. 中国の北魏などの様式や朝鮮半島の技術の影響を受け、神秘的な「古拙の微笑（アルカイック・スマイル）」をたたえたものが見られる。 2. 唐の文化の強い影響を受け、粘土を塗り固めた塑像や漆を用いた乾漆像など、写実的で豊かな肉体的表現を持つ像が多く制作された。 3. 東大寺の大仏に代表されるように、鎮護国家の思想に基づき、国家の安寧を願って金銅製の巨大な仏像が全国に造立された。 4. 武士の台頭を背景に、運慶や快慶らによって、力強く躍動感にあふれる筋肉や表情を表現した写実的な彫刻が制作された。

問8 律令国家が戸籍を作成し、すべての人々に「口分田」を分け与える「班田収授の法」を実施した最大の目的は何ですか。当時の政治方針に深く関わる理由を説明したものを選んでください。（2020年 茨城県公立入試 類似）

1. 土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則を確立し、税を確実に徴収するため。 2. 地方の豪族に土地の私有を認めることで、中央政府への忠誠心を高めさせるため。 3. 農民の不満を解消するために、重い税の負担をなくして土地を自由に売買させるため。 4. 大陸との戦争に備えるため、すべての土地を軍事基地として活用しやすくするため。

問9 日本の歴史的な建築物に関する説明において、奈良県に所在し、飛鳥文化の特色を今日に伝える「世界最古の木造建築物」を指す名称として正しいものはどれですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 法隆寺 2. 東大寺 3. 唐招提寺 4. 平等院

答え合わせ・解説

問1	答え 1 物部氏	古墳時代から飛鳥時代にかけて、政治の実権をめぐる有力な豪族の間で激しい争いが起こりました。仏教を新しい統治の道具として取り入れようとした蘇我氏に対し、軍事や刑罰を司り伝統を重んじた物部氏は強く反対しました。この対立は「崇仏論争」と呼ばれ、最終的に蘇我馬子が物部守屋を滅ぼしたことで、日本における仏教受容の流れが決定的となりました。
問2	答え 1 天武天皇	中大兄皇子（天智天皇）の死後、その息子である大友皇子と、天智天皇の弟である大海人皇子が皇位をめぐる争ったのが壬申の乱です。これに勝利して即位した大海人皇子が天武天皇です。天武天皇は、豪族の影響を抑えて天皇に権力を集中させる政治を推し進めました。
問3	答え 1 唐や新羅による侵攻の脅威に対抗するため、国力を結集し強力な国家を創る必要があったから。	対外的な軍事的敗北は、当時の政権にとって国家滅亡の危機でもありました。唐や新羅の侵攻に備えるためには、軍備を整えるだけでなく、戸籍を作成して徴兵や徴税を確実に実行する強力な政府（中央集権国家）を作る必要がありました。これが、天智天皇から天武天皇、持統天皇へと続く律令国家建設の大きな動機となりました。
問4	答え 1 大化	蘇我入鹿を倒した乙巳の変に続く政治改革の中で、日本で初めての元号として「大化」が定められました。これは、天皇が時間をも支配するという東アジアの統治思想に基づき、日本が独立した国家としての体制を整え始めたことを象徴しています。中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足（後の藤原鎌足）はこの改革を通じて、豪族による政治から天皇を中心とする中央集権的な政治への転換を図りました。
問5	答え 1 与えられた位がその個人一代限りのものであり、子孫には継承されない点。	冠位十二階の最大の特徴は、従来の世襲制による地位の独占を打破しようとした点にあります。位は功績を挙げた「個人」に対して授けられ、本人が死ぬと返上されたため、家柄に関係なく常に有能な人材を求めることができました。これにより、豪族たちの勢力を抑え、天皇の権威を強めることを目的としていました。
問6	答え 1 唐や新羅の軍勢が日本列島へ攻め込んでくる事態に備え、国防を固めるため	660年の百済滅亡と、663年の白村江の戦いにおける日本の大敗により、当時の日本（倭国）は唐や新羅による報復的な侵攻を受ける可能性を非常に危惧しました。このため、天智天皇は大宰府などがある九州北部の守りを固めるために「防人」を配置し、あわせて水城（みずき）と呼ばれる堤防や、山城などの防御施設を築いて、国家存亡の危機に備える体制を整えました。
問7	答え 1 中国の北魏などの様式や朝鮮半島の技術の影響を受け、神秘的な「古拙の微笑（アルカイック・スマイル）」をたたえたものが見られる。	飛鳥文化は6世紀末から7世紀前半にかけて、大陸から伝来した仏教を中心として発展しました。法隆寺金堂釈迦三尊像などの仏像は、中国の北魏の様式や百済などの朝鮮半島の技術の影響を強く受けており、左右対称の構成や「古拙の微笑（アルカイック・スマイル）」と呼ばれる独特の表情が特徴です。他の選択肢は、唐の影響や塑像・乾漆像は「天平文化」、東大寺大仏は「天平文化」、運慶・快慶は「鎌倉文化」に関する記述です。
問8	答え 1 土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則を確立し、税を確実に徴収するため。	大化の改新以降、政府はそれまで有力豪族が支配していた土地と人民を、国家が直接支配する「公地公民」の仕組みへと転換しようとしてきました。口分田を与えて戸籍で管理することで、誰がどこで耕作しているかを把握し、租・庸・調などの税や防人などの兵役を課す基盤を作ることが目的でした。
問9	答え 1 法隆寺	奈良県斑鳩町にある法隆寺は、7世紀初めの飛鳥文化を象徴する寺院です。東大寺や唐招提寺は奈良時代の天平文化を代表する建築であり、平等院鳳凰堂は平安時代の国風文化を代表するものです。法隆寺の西院伽藍は、世界で最も古い木造の建物として国際的にも高い価値が認められています。